

浦添市医師会報

The Journal of the URASOE Medical Association

リニューアル号

Vol.81

2019 (令和元年)

pickup

浦添市医師会報 リニューアルに寄せて

浦添市医師会 会長 池村 剛 先生

浦添市医師会役員紹介
第54回定時総会

CONTENTS

- 01 浦添市医師会報リニューアルに寄せて
浦添市医師会 会長 池村 剛 先生
- 02 浦添市医師会役員紹介
- 03 第54回定時総会
- 04 二水会
2月「浦添市医師会新年会」
4月「平成30年度(第21回)浦添市医師会学術奨励賞発表会」
6月「外国人の診療に関するセミナー～浦添市国際交流協会の活動と在留外国人の医療体験から～」
- 11 学術講演会
第141回「医科歯科連携にむけて」
第142回「B型肝炎、C型肝炎の結果を放置していませんか？」
- 18 第54回浦添市医師会ゴルフコンペ
耳鼻咽喉科・頭頸部外科さきはまクリニック 院長 崎浜 教之 先生
- 21 平成30年度浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告
- 23 『命しるべ～いのちの道標パンフレット～』のご紹介
- 24 会員リレーエッセイ
『浦添市医師会創立を振り返って』 長嶺内科医院 院長 長嶺 安哉 先生
- 25 会員寄稿
『おとこの脳とおんなの脳』 まえだクリニック 院長 今山 裕康 先生
- 26 会員寄稿
『私の一曲』 介護医療院にしばる 施設長 嶺井 美奈子 先生
- 27 新入会会員寄稿
『子育て支援から始まる子どもの発達支援』 平安病院 小児科・児童精神科専任科長 勝連 啓介 先生
- 28 浦添市医師会報ヒストリー
- 30 理事会報告
- 32 入会・退会・異動報告
- 33 表彰
- 33 講演会・研修会のご案内
- 34 事務局からのお知らせ
- 35 編集後記

浦添市医師会提供ラジオ番組
「ゆんたく健康トーク」出演予定

表紙の写真

ゆいレール(沖縄都市モノレール)
てだこ浦西駅

ゆいレールの延伸区間開業が10月1日と決まりました。延伸区間の終点となる「てだこ浦西駅」周辺も開業に向けて急ピッチで工事が進んでいる様子です。浦添西海岸地区には去る6月に「サンエー浦添西海岸パルコシティ」がオープンし、浦添の街が大きく変貌を遂げ、益々の発展を予感させます。

浦添市医師会報
リニューアルに寄せて

会長 池村 剛



平成31年4月1日、菅官房長官が新元号「令和」を発表し、5月1日より新しい令和の時代がスタートいたしました。これまで31年続いた平成に終止符が打たれ新たな時代の幕開けとなります。平成は1989年に昭和天皇が崩御なされたことで始まりました。平成時代には、バブルの崩壊や東北大震災など経済の著しい停滞や大きな自然災害があり、負の側面が強調された時代のように思われます。

このような時代の平成4年に浦添市医師会は創立されました。医師会は平成の時代の中で大きく成長し、平成31年における会員数はA会員85名、B会員178名の総数263名を数えるに至りました。また、浦添市医師会の事業として、浦添市と連携した各種検診事業の実施や、うらそえ市民公開講座の定期的な開催などで、浦添市民の健康増進、介護・福祉の向上に寄与できるよう努めて参りました。

平成29年には創立25周年を迎え、記念式典や記念誌の発行も果たすことができました。医師会にとって、平成が成長の時代であり続けられたことは、歴代会長や理事の先生方のご努力と会員の先生方のご協力あってのことと深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、新しい令和の時代に医師会は50周年に向けて歩んでまいりますが、正直なところ、平成最後の数年間は医師会の活力がやや低迷した印象が否めません。ここ数年間は新規開業が無く、医師会主催の二水会や学術講演会への参加も減少の一途をたっています。このような傾向は私共の力不足と深くお詫びするところでございますが、医師会の活気溢れた時代を取り戻すことの難しさを痛感しているところでもあります。

今回の医師会報のリニューアルは、サイズの変更で文字が大きくなり読みやすくなりました。また、今年から始めました旧正新年会は会員の先生方限定の懇親会となっています。多くの会員の先生方にご参加をお願いし、医師会の活力を取り戻していきたいと思っております。

医師会は我々が主催する催しだけでなく、公的な仕事にも協力していく社会的な責務があります。会員の先生方のご協力なくしてこの責務を果たすことができないのは明白でございます。会員の先生方には、リニューアルされた医師会報で医師会の活動を知っていただき、二水会、学術講演会など懇親の場にも参加いただけますようお願いいたします。今後とも、ご協力ご支援を賜りますよう切に願っております。

浦添市医師会 役員(理事・監事)・裁定委員・顧問のご紹介

現在の浦添市医師会の執行部をはじめ監事、裁定委員・顧問の先生方をご紹介します。三役(会長・副会長)ならびに各理事の先生方におかれましては、多忙な日常診療の傍ら、理事会をはじめとする各種会議や委員会へのご出席等、会務活動へ尽力されております。どうぞよろしくお願い申し上げます。(*任期は令和2年6月の定時総会終了時まで)



会長(代表理事)
池村 剛 (池村クリニック)



副会長(総務・医療事故担当理事)
洲鎌 盛一 (牧港中央病院)



副会長(救急・災害担当理事)
銘苅 晋 (浦添総合病院)



小児保健担当理事
新垣 義清 (まちなと小児クリニック)



老人保健担当理事
具志堅 政道 (具志堅循環器・内科)



福祉経営・精度管理担当理事
比嘉 耕一 (ひがハートクリニック)



学術・生涯教育担当理事
宮良 球一郎 (宮良クリニック)



学校保健担当理事
山川 美由紀 (みゆき小児科)



地域保健担当理事
島尻 佳典 (キンザー前クリニック)



医療保険・介護保険担当理事
稲福 徹也 (稲福内科医院)



地域医療担当理事
大瀨 篤 (まちなと内科在宅クリニック)

<監 事> 池村 富士夫(同仁病院)
福本 泰三(浦添総合病院)
嘉手川 啓(ロクト整形外科クリニック)

<裁定委員> 狩俣 陽一(かりまた内科医院)
平良 勝彦(丸勝中央クリニック)
新里 研二(新里眼科医院)
下地 克佳(下地内科)
新里 誠一郎(浦添総合病院)

<顧 問> *歴代会長経験者
嶺井 進
山内 英樹(同仁病院)
仲間 清太郎(浦西医院)



外国人診療、産業保健
情報・通信担当理事
山本 和儀 (山本クリニック)



広報・会員親睦
勤務医担当理事
藏下 要 (浦添総合病院)

第54回 定時総会

日時:平成31年3月25日(月)19:30
場所:浦添市医師会事務所

第54回浦添市医師会定時総会が、3月25日(月)19時半から浦添市医師会事務局にて開催された。

平良事務局長の進行により、会員数263名のうち226名の委任状を含む出席による本総会成立と、上程された全ての議案について決議が可能との報告があり、開会が宣言された。

続いて池村剛会長の挨拶の後、議長の選出が行われ、議場に諮ったところ執行部案の池村剛会長が選出された。

- ・議決権のある当法人会員総数:263名
- ・総会員の議決権の数:263個
- ・出席会員数(委任状によるものを含む):226名
- ・この議決権の総数:226個

第54回浦添市医師会定時総会

- 1.開会宣言
- 2.会長挨拶
- 3.議長選出
- 4.議事録署名人
- 5.議事
 - 第1号議案 平成30年度補正予算案に関する件(満場一致で承認)
 - 第2号議案 平成31年度(新元号元年度)事業計画案に関する件(満場一致で承認)
 - 第3号議案 平成31年度(新元号元年度)収支予算案に関する件(満場一致で承認)
 - 第4号議案 学校医の就任に関する件(継続審議→次回6月通常総会で再協議)
 - 第5号議案 その他

以上をもって議長より本総会の議事を終了した旨が述べられ閉会した。



浦添市医師会 旧正新年会 ご報告

去る2月8日(金)(旧暦1月4日)、ムーンオーシャンホテル宜野湾におきまして旧正新年会(仮称)を開催いたしました。

当日は、あいにく時折小雨のばらつく天気にも関わらず、50人ほどの先生方に参加をいただきました。会員の先生方をご案内しての新年会は、浦添市医師会では初めての開催となります。

これまでも、会員の親睦や情報交換などを目的として二水会(2ヶ月に一度)を執り行っているところではございますが、情報提供に関わる講演会等も抱き合わせで行っていたことから、内容に関心のある先生方の参加にとどまっておらず、純粋に親睦交流を行える会の開催を考えておりました。そこで、今年1月に藏下要先生(会員親睦担当理事)の提案により、2月の二水会を拡大発展させ新年会として開催することが急遽決まりました。

今回は50人ほどの参加でしたが、忘年会などにも参加されない先生方のご出席もあり、久しぶりにお会いする先生との昔話や現況の交換など楽しく過ごすことができました。

また、参加された先生方より今後も続けて欲しいとのご意見を頂き、来年以降も継続して開催する予定となりました。日程は旧正月に合わせて開催することとし、来年(2020年)は1月25日が旧正月にあたり、2月の二水会として2月7日(金)の開催を予定いたします。今年ご参加が叶わなかった先生方も含めまして、より多くの会員の先生方のご参加をお待ちしております。

浦添市医師会長 池村 剛



平成30年度(第21回) 浦添市医師会学術奨励賞発表会

学術・生涯教育担当理事 宮良 球一郎



Iグループ:平成31年4月10日(水)19:00

IIグループ:平成31年4月17日(水)19:00

場所:名嘉村クリニックHSRビル伊祖 4階SOMNO ホール

今年の浦添市医師会主催の学術奨励賞発表・表彰式は、名嘉村クリニックのご厚意により、会場をこれまでの浦添医師会ではなく名嘉村クリニックHSRビルに移動して行われました。今回も多く演題募集があり、演題選考委員を同仁病院 池村 富士夫先生(副院長)、牧港中央病院 上江洲 徹先生(副院長)、嶺井第一病院 新垣 勝男先生(副院長)、浦添総合病院 城田 真一先生(副院長)にお願いし、厳しく評価していただき14題が採択され、その結果として3年連続2週に渡っての開催となりました。

演者の内訳は看護師、臨床検査技師、理学療法士、臨床工学技士が各2名、管理栄養士、介護支援専門員、介護福祉士、医事課、薬剤師、医師が各1名と昨年よりもさらに多彩になり、専門的内容にあふれた発表でした。Iグループは同仁病院 池村 富士夫先生(副院長)、IIグループは上江洲 徹先生(副院長・当時)が座長として白熱した討論をリードしてくれました。

発表会終了後、池村 剛浦添市医師会長に講評していただき、発表者全員の表彰式と記念撮影をし発表会は終了しました。

そして、もう一つの重要な目的である会員相互の交流を深めるための懇親会に移り、時間の許す限り和やかに情報交換をしました。サプライズとして名嘉村クリニック院長名嘉村 博先生よりアップルパイの差し入れもありました。

最後に次年度の案内をします。この奨励賞発表は浦添市医師会所属の医療機関及び附属福祉・介護関連施設で平成31年度(令和元年度)に発表した学術論文、学会や院内研究会の発表等を対象としています。時期が来ましたら演題募集の案内をしますので、今年度同様多くの医療機関&施設からの発表をお待ちしています。そしてより親密な交流を楽しみましょう。

平成30年度（第21回）浦添市医師会学術奨励賞
Iグループ受賞者（4月10日）



座長：同仁病院 副院長 池村 富士夫 先生

氏名・所属医療機関	演 題
 徳山クリニック 管理栄養士 宮城 早織	当院外来栄養指導患者の食塩味覚 検査と食・生活習慣調査結果の報告
 徳山クリニック 臨床工学技士 玉城 学	オンラインHDF におけるTMP 制御 QSコントロールによるアルブミン漏出量 の検証と溶質除去性能評価
 同仁病院 理学療法士 河野 桃子	通所型サービスC 参加者の生活の 広がりに影響する因子について
 同仁病院 臨床工学技士 嘉手納 貴暁	コンソール新規設置が 水質検査に与える影響
 山本クリニック 医師 山本 和儀	沖縄県における精神科診療所の 過去・現在・未来
 名嘉村クリニック在宅ケアセンター ケアプランセンターいそ 介護支援専門員 玉城 歩	ケアプランセンターいそQC 活動報告 ～業務内容見直しから得たものとは～
 介護老人保健施設アルカディア 介護福祉士 屋嘉比 盛嗣 代理発表者：宮城 光代	看取り時期からの復活 ～1事例を通して～

平成30年度（第21回）浦添市医師会学術奨励賞
IIグループ受賞者（4月17日）



座長：牧港中央病院 副院長 上江洲 徹 先生

氏名・所属医療機関	演 題
 牧港中央病院 薬剤師 大城 幸浩	薬剤師のポリファーマシーへの介入 ～患者に合わせた処方の適正化を目指して～
 牧港中央病院 医事課 金城 健太	DPC 制度導入に向けた取り組み －課題抽出を試みて－
 宮良クリニック 臨床検査技師 松田 優香	当院の術前治療における腫瘍像の変化
 宮良クリニック 臨床検査技師 安里 保子	当院における二次検診の実際
 とぐち耳鼻咽喉科 看護師 安井 礼子	発達障害児への受診に対しての取り組み ～勉強会と懇談会から学んだこと～
 介護老人保健施設 エメロードてだこ苑 理学療法士 高原 英之	当苑における安全対策とリハビリ課の役割 ～ヒヤリハット・事故報告の有効活用～
 浦添総合病院 看護師 前田 兼太郎	手指衛生遵守率上昇につながった勉 強会、マイサーベイランスの介入効果



発表の様子 発表にも熱がこもります

会場からは活発な質疑応答があがりました
(左)名嘉村クリニック名嘉村博先生、(右)山本クリニック山本和儀先生

4/10 発表会Iグループの皆様 おめでとうございます！



4/17 発表会IIグループの皆様 おめでとうございます！

外国人患者の診療に関するセミナー ～浦添市国際交流協会の活動と 在留外国人の医療体験から～

外国人診療担当理事・山本クリニック院長 山本 和儀



日時:令和元年6月12日(水)19:00

場所:浦添市医師会

沖縄県の在留外国人数は2018年6月現在16,364人、浦添市にもJICA沖縄（国際）センター研修生を含め1,000人余りの外国人が在住している。2019年4月1日から施行された改正入管難民法によって、我が国は向こう5年間で新たに34万5千人の外国人材を受け入れる。これを機に多文化共生社会推進の施策が進み、訪日外国人の医療に続いて、在留外国人の保健・医療・福祉の向上が図られることが期待される。幸い浦添市は1992年には国際交流課を設置し、民間団体である浦添市国際交流協会を組織して、国際交流を推進してきた。

今回のセミナーでは、2人の在留外国人を迎えて医療体験とお国自慢を拝聴した。1人目はアルゼンチンからウラシー民間大使として活躍中の佐久田アンドレスさんで、浦添市出身の祖父を持つ3世。アルゼンチンは南米のパリとも言われるブエノスアイレスを首都とする国でヨーロッパなどから多くの移民を受け入れ発展した国であるが、その後の歴史の中で様々な腐敗が起こり、国立病院でも患者さんが所狭しと収容されるなどカオス状態で、医師との信頼関係もなく、多くの国民が薬局で購入した薬をのんで病気をやりくりしているとのこと。2人目はネパール出身のオジャ・ラックスマンさんで在留7年余り。ナマステ（ネパール語の挨拶）。母国には8000m級の山が8つもあり、首都カトマンズやポカラなど登山観光地で有名。121の多民族・多言語、ヒンズー教徒を主とする多宗教国家だが、仏陀の生誕の地でもあり、平和に暮らしているとのこと。日本語学校で留学生の指導・世話を担当し、本人自身は読み書きも含め日本語は達者だが、多くの留学生（コンビニなどのバイト生でもある）が、問診票に記入できない、症状を伝えることができない、専門診療科を選べない、お金が払えない等の困難があることを指摘された。このような開発途上国の出身者の場合、医療機関受診の経験不足による不安があるため、受診の手続き・流れ、支払い額について、より丁寧な説明と本人の同意が求められていると思われた。

お2人の話に続いて、石坂ひとみ浦添市国際交流課長が「太陽とみどりにあふれた国際性豊かな文化都市」を目指した市内の環境整備、「広報うらそえ」の多言語配信、国際交流・友好都市交流等の施策について紹介し、市内在留外国人向け施策の強化について語られた。最後に、長谷川正志浦添市国際交流協会企画指導員がJICA沖縄センターの研修生との交流をはじめとする国際交流プログラムの数々を紹介された。まずは「食事体験 世界の食文化」などから参加したい!と思った。

第2部の情報交換親睦会は席に就けない程、多くの参加者で賑わった。ご発表、準備、参加の皆様、ありがとうございました。グラシアス（スペイン語）、ダンニャバード（ネパール語）



会場の様子 活発な意見が飛び交いました

浦添市国際交流課石坂ひとみ課長と
浦添市国際交流協会会長谷川正志氏

東産婦人科クリニック 院長 東 幸子先生



懇親会の様子

アルゼンチン・ウラシー民間大使
佐久田 アンドレス氏オジャ・ラックスマン氏
(ネパール)

浦添市医師会学術講演会

学術・生涯教育担当理事 宮良 球一郎



第141回浦添市医師会学術講演会

日時：平成31年1月16日(水)19:00

場所：浦添市医師会

日本医師会生涯教育講座1.0 単位

カリキュラムコード：12(地域医療)、73(慢性疾患・複合疾患の管理)



座長：宮良クリニック 院長 宮良 球一郎 先生



演題

『医科歯科連携にむけて』

講師：くくる歯科医院 院長 仲若 三男 先生

これまでの歯科医療は齲蝕、歯周病、歯牙欠損などの歯科疾患が進行した結果、不可逆的な状況に至って初めて介入がなされる、いわゆる疾病治療が主でした。しかし、近年これらの歯科疾患が様々な全身の健康を阻害する要因となっていることが分かっており(図1)、疾病治療中心の従来の歯科医療から全身疾患を予防するための健康主導の歯科医療が求められています。

特に糖尿病と歯周病の関連についてはこれまで既に半世紀以上の議論が世界中でなされてきているといわれますが、日本国内においては医科歯科の連携はまだ十分であるとは言えません。歯科医療を通して全身の健康を主導するという観点から歯科医療を考えた場合、歯科の役割は大きく二つあります。

その一つは、感染性の炎症性疾患であるう蝕(虫歯)と歯周病を予防、治療すること。二つ目は、歯を失うことにより起こる咀嚼機能が低下を予防、治療することです。

1、う蝕(虫歯)と歯周病

口腔の2大疾患であるう蝕と歯周病はいずれも感染性の炎症性疾患であります。放置することにより局所の毛細血管から炎症性物質LPS、口腔内細菌等が血管内に侵入することで菌血症が起きます。う蝕、歯周病保有している患者はたとえ自覚症状が無くとも菌血症+慢性炎症が起こっているといえます。(図2) これまでも最も一般的に行われてきた虫歯治療、歯周病治療は単なる歯科治療ではなく、全身に及ぶ菌血症、慢性炎症予防という観点からより深刻にとらえる必要があります。講演の中では画期的予防法といわれ導入が始まっている3DS (Dental Drug Delivery System) についてご紹介しました。(図3)



2、歯牙欠損による咀嚼機能低下

う蝕や歯周病によって歯を失うと咀嚼機能の低下が起こります。咀嚼機能が低下すると噛まなくても空腹感を満たしてくれる食事に移行することになり糖質（炭水化物）の摂取だけが増加していくことが分かっています。（図4）

口腔機能の低下、いわゆるオーラルフレイルの状態が放置されることは、全身のフレイルにつながっていくことになります。（図5）

咀嚼機能の低下を防ぎ回復するために歯科治療においてはブリッジ、義歯（入れ歯）、インプラントなどの欠損補綴治療がなされますが、今回の講演においては特に現在のインプラント治療について当院の症例を中心にご紹介いたしました。

3、歯科治療の今後の役割と医科歯科連携

これまでの歯科においては主にう蝕や歯周病の治療、欠損補綴治療までを行い歯科の介入は終了していました。しかし、今後はう蝕や歯周病の予防を継続的に行うことにより菌血症を予防し慢性炎症を予防することが重要です。（図6）また、欠損補綴治療により咀嚼機能の回復を図った後は、健全な食事に戻れるよう、適切な栄養指導を行う必要があります。

そのためにも医科歯科連携はもちろんですが、薬剤師、看護師、栄養士、地域社会のサポート含めて協力していく必要があると考えます。（図7）

ぜひとも浦添市からこの連携の輪を広げていけるよう期待したいと思います。

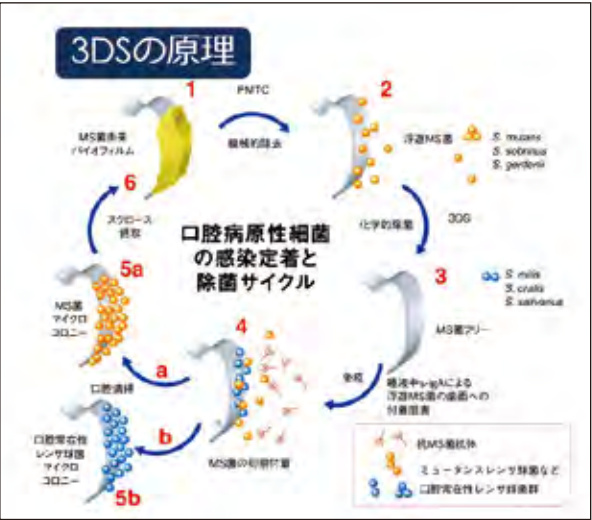


図3

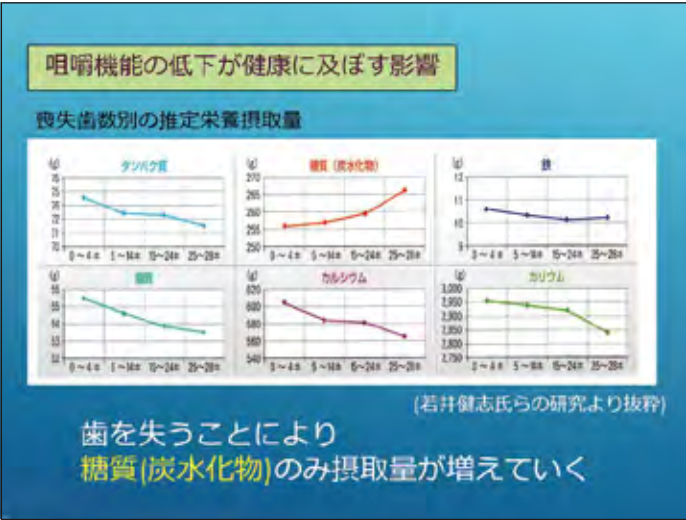


図4

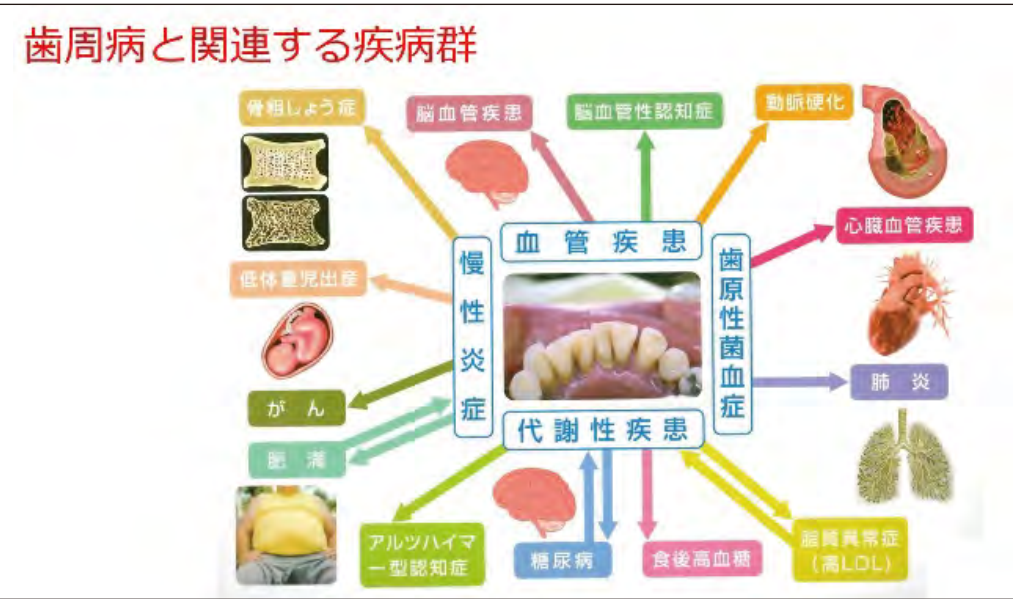


図1



図2

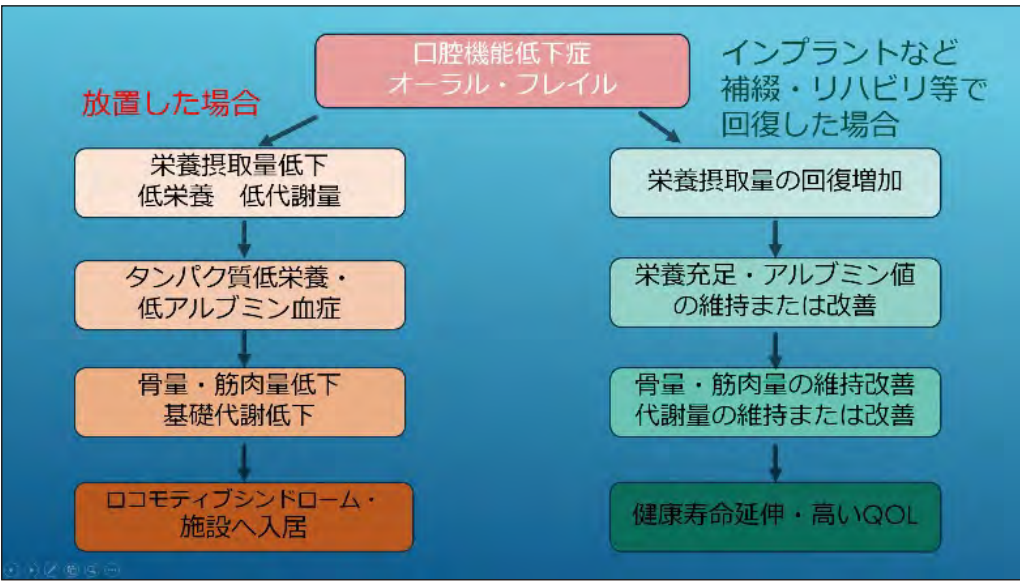


図5



図6

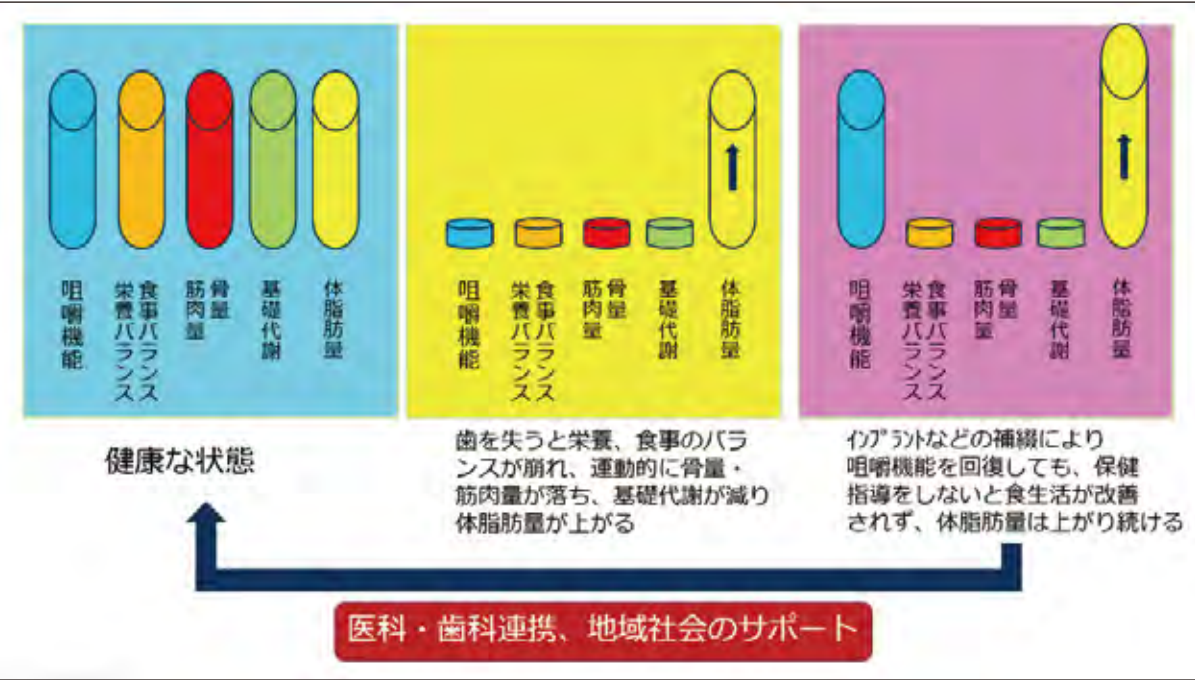


図7



質疑応答では多くの質問があがりました



懇親会の様子



第142回浦添市医師会学術講演会

日時：平成31年3月20日(水)19:00
場所：浦添市医師会
日本医師会生涯教育講座1.0 単位
カリキュラムコード：8(感染対策)、12(地域医療)



座長：那覇市立病院 消化器内科 部長 宮里 賢 先生



演題

『B型肝炎、C型肝炎の結果を放置していませんか？
(手術前検査を含むすべての検査)
肝炎ウイルス陽性者対策』

講師：浦添総合病院 消化器内科・肝臓内科 副院長 仲吉 朝邦 先生
普久原 朝史先生 肝臓サポートチーム

「肝炎ウイルス検査の目的や結果に関わらず、受験者自身が検査結果を正しく認識できるよう医療提供者が適切な説明を行うこと…」と、厚労省より平成26年4月に通達されました。言い換えれば「各医療機関において責任をもってB型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスの結果を患者さんに説明を下さい」ということです。

振り返ってみると、私たち医療者は検査前や手術前にこれらの検査を行っても、針刺し事故や感染防止の点から内向きの理由で処理してきたことも少なくないと思います。

患者さんにとっては、肝炎ウイルス検査が「陽性」であることを正しく説明されれば適切な検査や治療の機会を得ることができますが、「陽性」であっても正しく説明されなければその機会を奪われることにつながり、結果として肝疾患が進行し慢性肝炎、肝硬変、肝不全や肝細胞がんに至る可能性が容易に考えられます(図1)。きちんとした説明がなされなかったため(きちんと説明がなされていても!)の医療訴訟が数多くあるようです。

ウイルス肝炎治療は近年急速に進歩し、C型慢性肝炎は3～4か月の経口薬治療でほぼ完全に駆除できるようになりました。しかもかつてのインターフェロンのようなつらい副作用もありません。私たち肝臓専門医にとってはインターフェロンに比べるとあっという間に、あまり苦労せず成功裏に治療を終了することができるようになりました。患者さんにとっては言うまでもありません。

B型肝炎はまだ完全なウイルス駆除はできませんが経口薬でほぼ完璧に抑えることが可能です。長期間の治療になるため腎障害や低リン血症等の副作用への注意が必要ですが自覚症状はあまりなくコントロールできます。最近は治療薬も改善し副作用も軽減されるようになっていきます。

一方で、肝炎治療特別促進事業による医療費助成制度があり、月額1～2万円の費用で高額なウイルス性肝炎の検査・治療を受けることができます。

このように、わずか5年前と比べても安全で有効な治療を提供でき、しかも医療費助成制度がある社会背景からも、ウイルス肝炎「陽性」の説明と必要な方への治療は勧めなくてはならない時代になりました(図2)。

当院の実態を把握するために、2017年4月1日～9月30日のHCV抗体「陽性」全47例についてカルテからHCV抗体陽性「結果説明」の有無と「HCVRNA 検査実施」の有無を調査しました。結果は、ほぼ全例で「結果説明」の事実の記載がありませんでした。「HCVRNA検査」は47例中16例(34%)しか施行されていませんでした(図3)。その結果を診療部会議(一般には医局会議でしょうか?)で医師全員に周知し協力を得たうえで、2018年2月から手術前検査を含むすべての肝炎ウイルス検査陽性者を拾い上げ、「陽性」結果を説明し、肝臓サポート外来等で検査を行い、結果や病状説明等を行う仕組みを構築しました。2019年1月までにB型肝炎では化学療法を契機とした治療開始2例(図4)、C型肝炎では慢性肝炎4例、肝硬変合併肝がん1例に対し治療が終了(図5)しています。

院内システムが軌道に乗った今、患者さんのため、医療者のためにも、私たち浦添地域のウイルス性肝炎陽性の患者さんをなくすことを目指したいと考え、医師会で発表の機会をいただきました。

当院では看護師、臨床検査技師、薬剤師、感染防止対策室、医事課、医療相談連携室のスタッフが肝炎医療コーディネーター認定を受け、力を合わせて上述の活動を続けています(図6)。

当医師会のみなさまのお手伝いもしていきたいと考えておりますのでお気軽にひと声かけていただければ嬉しく思います。

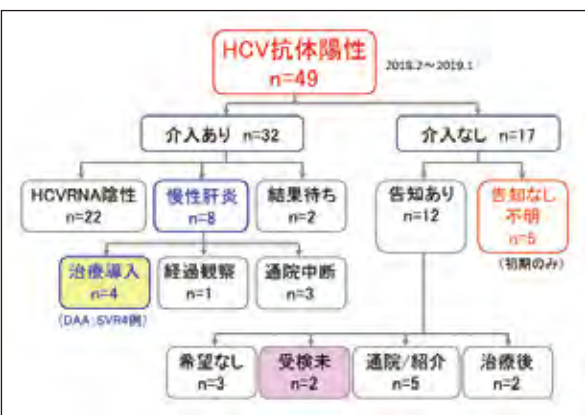


図5

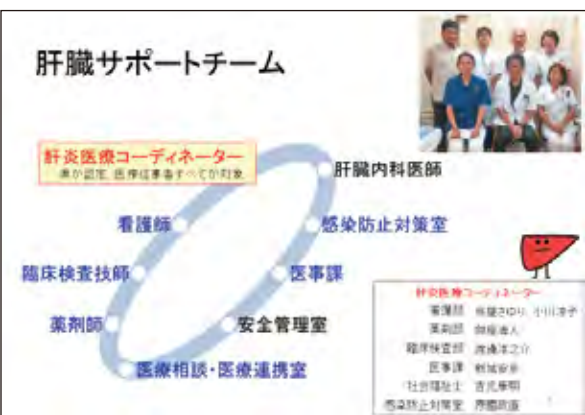


図6



ご講演の様子



座長の宮里賢先生



会場の様子

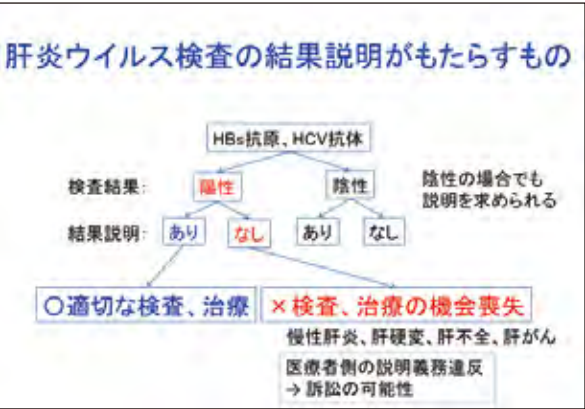


図1



図2

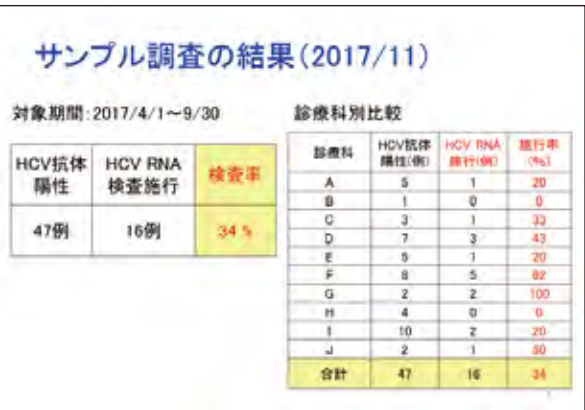


図3

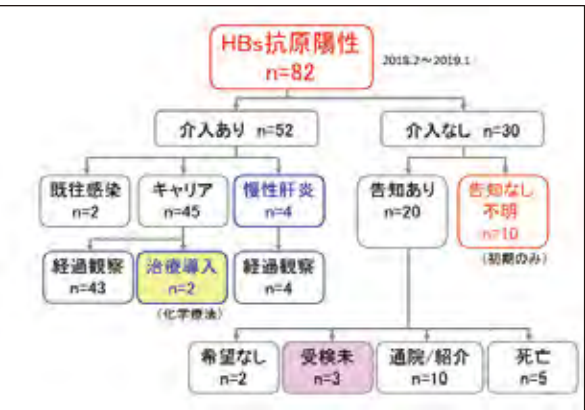


図4

第54回 浦添市医師会ゴルフコンペ



日時:平成31年3月21日(木・祝)8:12

場所:琉球ゴルフ倶楽部

耳鼻咽喉科・頭頸部外科さきはまクリニック 院長 崎浜 教之



2019年3月21日、平成最後の「春分の日」に第54回浦添市医師会ゴルフコンペが琉球ゴルフ倶楽部で開催されました。当日は生憎、厚い雲に覆われ、時おり強い風の吹く1日となりましたが結果的には涼しく、快適にラウンドできるお天気となりました。

参加者は、池村剛会長、洲鎌盛一副会長をはじめ14名でした。今回から日程が変わったため、常連の数名が他の競技と重なり参加できなかったのは残念でした。

さて、コンペの成績ですがコースの距離とピン位置が前の週にあった「第32回ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」決勝ラウンドとほぼ同じ設定にされたため距離が長く難しい設定となり、全員スコアメイクに苦労していました。その中で、長い4つのショートコースのうち仲宗根豊先生が3個、乗せるのも難しい最も長いショートで辺土名仁先生が見事ニアピン賞を獲得しました。ロングコースでのドラコン賞は福本泰三先生、辺土名仁先生が獲得、飛ばし屋を自認している先生たちはガチガチに力んでラフへ、精神的な弱さを露呈していました。敢闘賞は平安良雄先生、ブービー賞は狩俣陽一先生、ラッキー7賞は多々羅靖弘先生、2位に仲宗根豊先生、堂々1位には福本泰三先生、3位と栄えあるベストグロス賞は私、崎浜が獲得しました。狩俣陽一先生、多々羅靖弘先生は何時も楽しそうに元気でプレーされています。これからもご一緒できるのを楽しみにしています。

次回は、9月23日「秋分の日」を予定しています。多くの参加者を期待しています。



優勝おめでとうございます!



第54回浦添市医師会ゴルフコンペ(H31.3.21)

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー業務報告

浦添市在宅医療・介護連携支援センター うらっしー事務局

「浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー」は、介護保険法における地域支援事業の包括的支援事業として浦添市からの委託により平成27年4月1日より浦添市医師会に設置され今年で5年目を迎えます。

高齢社会を迎え、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制構築を目指し、多職種・関係者間の連携推進を事業目的としています。

浦添市の在宅医療・介護・福祉・保健に携わる機関や専門職の皆様をはじめ、広く市民の皆様にもその事業活動を通して、浦添市における地域包括ケアシステムの構築に貢献して参ります。

平成30年度 浦添市在宅医療・介護連携推進事業の実施報告（概要） （平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーホームページの管理・運営

（URL：<http://www.urasshii.com>）＜平成27年8月1日ホームページ開設＞

＜内訳＞

- ・新規事業所（追加）・・・13件
- ・休止・廃止事業所（削除）・・・11件
- ・掲載内容変更・・・80件
- ・その他・・・6件

＜ホームページ掲載項目追加＞

- ①資源マップ登録調査票26種掲載、②訪問診療依頼書の様式、③介護医療院の項目、④うらっしーだよりの項目、⑤市内の医療的処置・管理及び受け入れ可能な利用者一覧の項目（在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅）
- ・市民公開講座アンケート及びパネルディスカッション時の質問票・回答掲載

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- 平成30年度 在宅医療・介護連携推進調整会議（月1回）
- 在宅医療ネットワーク世話人会（計7回）
- 浦添市在宅医療ネットワーク多職種意見交換会（2回）
- 認知症ネットワーク世話人会（3回）＊在宅医療NWとの合同開催含む
- 同職種連携：うらそえ介護福祉士会（計4回）、医療事務職員連絡会（計4回）
- 浦添市在宅医療・介護連携支援センター運営委員会（3回）

優 勝	福本 泰三	浦添総合病院
準優勝	仲宗根 豊	なかそね内科・循環器科
3 位	崎浜 教之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科さきはまクリニック
4 位	池村 剛	池村クリニック
5 位	辺土名 仁	みどり耳鼻咽喉科
6 位	比嘉 耕一	ひがハートクリニック
7 位	多々羅靖弘	浦添中央医院
8 位	仲宗根竜也	たつや整形外科
9 位	銘苅 晋	浦添総合病院
10 位	藏下 要	浦添総合病院
11 位	洲鎌 盛一	牧港中央病院
12 位	狩俣 陽一	かりまた内科医院
13 位	平安 良雄	平安病院

優 勝	福本 泰三
準優勝	仲宗根 豊
3 位	崎浜 教之
ラッキー7賞	多々羅靖弘
ベストグロス賞	崎浜 教之
ブービー賞	狩俣 陽一
ドラコン賞(2本)	辺土名 仁
	福本 泰三
	仲宗根 豊
	仲宗根 豊
ニアピン賞(4本)	仲宗根 豊
	仲宗根 豊
	辺土名 仁
	仲宗根 豊
ブービーメーカー賞	平安 良雄



(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 在宅主治医紹介・・・12件／39件（在宅、有料老人ホーム等）
- 関係機関（職種）との連携・・・17件
（医療機関、地域包括支援センター、介護支援専門員等）
- 在宅医療ネットワーク加入・・・1件（まえだクリニック）

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 医療介護ネットワーク2025ヒヤリング（分科会B 3回、分科会C 1回）
- 入退院支援連携に向けての取り組み
（医療介護ネットワーク2025分科会B 症例ふりかえり座談会開催（1回））
- 市内有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護向け
アンケート調査実施（平成31年1月15日～2月8日）

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- 相談件数：83件
- ＜主な相談内容＞
 - ・訪問診療について ・訪問診療の専門分野（耳鼻科、皮膚科、精神科等）
 - ・講師依頼について ・市民公開講座について
 - ・出前講座について ・医療・介護保険制度の問い合わせ

(カ) 医療・介護関係者の研修

- 出前講座（介護講習会）の実施（1回）
- 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー多職種連携研修会開催
- 平成30年度第3回沖縄県医療介護連携セミナー（計4回）
- 医療介護ネットワーク2025分科会A・Cと共催の研修会（1回）

(キ) 地域住民への普及啓発

- 第5回バリアフリーオリンピックへの参画
- FM21への出演（3回）
- 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしーだより4号・5号・6号発行
- 平成30年度 浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座

(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- 地区医師会コーディネーターミーティング（月1回）
- 在宅医療・介護連携市町村支援事業コーディネーター等連絡会議（月1回）

その他

- 関係機関や市内職能団体が開催する会議や研修会への参加

平成30年度沖縄県在宅医療・介護連携に関する市町村支援事業 「命しるべ～いのちの道標パンフレット～」作成のご報告

浦添市在宅医療・介護連携支援センター うらっしー事務局

この度、沖縄県医師会が沖縄県より委託を受けております「平成30年度沖縄県在宅医療・介護連携に関する市町村支援事業」の一環として、「命（ぬち）しるべ～いのちの道標パンフレット～」を作成いたしましたのでご紹介いたします。

このパンフレットは、生活をするうえで他の人のお手伝いが必要になりつつある方とそ
のご家族、また自分自身やご家族の介護に不安を感じている方を支援することを目的に
作成されました。

ご自身の希望に沿った生き方を実現するためには、その意思を十分に尊重し、ご自身に
とって最善となる医療やケアをより一層充実させていくことが重要となり、その望みをご
家族や身近な人と共有していただくことで、ご自身の人生観や価値観、希望に沿った将来
の医療及びケアを具体化することを目指しております。

本パンフレットは、介護が必要な方や、そのご家族等のみでなく、全ての年齢の方や医
療・介護・福祉の専門職の方を対象としており、パンフレット内のストーリー部分はあえ
て難しい表現や専門用語は使用せず、解説部分は利用者やそのご家族が各ストーリーの
場面において必要となる具体的な情報を盛り込みました。併せて、専門職の方が現場で
使用することも想定し、最低限必要となる情報を取捨選択のうえ盛り込んでおります。

なお、この「命（ぬち）しるべ～いのちの道標パンフレット～」につきましては、うらっ
しー事務局（浦添市医師会）にて多少の在庫を保管しておりますので、必要な際はご一
報頂けると幸いです。また、沖縄県医師会のホームページにも掲載され、ダウンロードで
きますのでそちらもご活用下さい。



沖縄県医師会ホームページ
www.okinawa.med.or.jp/

検索方法：
「沖縄県医師会」→「在宅医療」
→「意思決定支援パンフレット」

※うらっしーホームページにも、
リンクを掲載しております。

会員リレーエッセイ



「浦添市医師会創立を振り返って」

長嶺内科医院 院長 長嶺 安哉



初代会長の平安常良先生から嶺井進先生、山内英樹先生と優秀な会長人材を有し、平成4年（1992年）に浦添市民の健康維持と増進に寄与することを目的に、中部地区医師会から離れ市民密着の浦添市医師会として独立を果たしました。

また、浦添市医師会には優秀な人材を握し、その努力と実行から訪問診療を伴う在宅医療ネットワークが発足し、医師会事務局職員の増加充実を果たし大世帯になりました。

特に、山内英樹会長任期中には病診連携や糖尿病をテーマとした病診連携推進モデル事業の実施、沖縄県の公的医療の改革と難しい事情が絡み合う複雑な時期でした。

その大変な時期に山内英樹会長は当時の浦添市長の儀間光男さんとの協働により、地域行政とのタイアップに入り見事にその連携を造り上げたことでした。その後、仲間清太郎先生や現職の池村剛先生に至ります。

このような医師会と市行政がうまく合致したことが珍しく、全国にこの業績が響き渡りました。例えば、国から地方自治体に委託後に健康維持としての予防接種や特定健診等、医師会と市行政が綿密にタイアップしながらそれらを実践したことです。

思えば、一昨年（平成29年）に浦添市医師会創立25周年記念誌を発行し、今年の令和元年で27年を経過したこととなる。これまで浦添市医師会が発展充実できたのは歴代会長は勿論のこと、それを支えた理事会執行部と事務局の協力等は言うまでもありません。

今後も浦添市医師会が発展充実して行くことを心から願います。

会員寄稿



「おとこの脳とおんなの脳」

まえだクリニック 院長 今山 裕康



人間の脳は女性の脳梁が男性より太く、女性の色識別能力が男性より高いのは知っていました。しかし、ここまで違うの？と思った話です。

・女性の聴く力はすごい。

ある日の外来で、女性の話を聞いていた時のことです。その女性の話はあちこちに飛んで何の話をしているのかさっぱり分かりません。支離滅裂で「この人、統合失調症かいな？」と思いながら横を見ると、女性看護師さんはフンフンと頷いています。「ん？………？」「話、分かるの？」「はい！」。解説してもらおうと登場人物は4人で、Aがこうして、Bがこうして、ああなって……。ふーん、実に筋の通った話でした。看護師さんに「わからなかったのですか？」と驚かれました。彼女曰く、「女子会で話をするとき、主語がなかったり、話があちこちに飛んだりするのは当たり前。全体像を想像しながらきくので話は分かる。」。

女性の脳はすごい。こんな脈絡のない話を理解できるのだ。次から真似ようと努力しましたが、出来ませんでした。時々分かるときもあったけど、分からないことが多かったです。話を聞くときは一人で聞いては駄目だと痛感した次第です。

・女性は解決を求めている。

外来に来る度に夫婦喧嘩をしてくる女性の話です。女性は帰宅した夫に「今日こんなことがあって困ったのよ。」「こんなことがあってどうしようかと思った。」などと話をしたら、夫はすぐに真剣になり「なにが、どう困ったの？」「どうして、そんなことになったの？」などと聞いてきて、「こんなにしたら」「こんな風にかんがえたら」などと解決策を言ってきたそうです。そうすると女性は徐々にイライラしてきて、終に喧嘩になったとのことです。夫曰く、「何が起こったのか、何が問題なのか、どうしたら解決できるかを一生懸命考え、それを彼女に伝えたと、彼女が怒り出す」。夫は訳が分からないと訴えました。彼女に怒ったわけを聞くと、ただ聞いて欲しいだけだったのに、ああだ、こうだと話を難しくしていくのでイライラしたとのことです。

この時、女性の話はただ聞いて欲しいだけのときがあるのだと初めて知りました。一概に男性は女性の困った話や悩んだ話を聞けば、「それは大変だ。」と、どうしたら解決できるかを考えます。ところが、女性はただ話を聞いてほしいだけ、「ふうん。そんなことがあったの。大変だったね。」と相槌を打ってくれたらいい、即ち、共感したら良いだけらしいのです。これを知り、妻との会話が非常に楽になりました。ああ、聞くだけでいいのか。今まで真剣に聞いていたのに……。

会員寄稿



「私の一曲」

介護医療院にしばる 施設長 嶺井 美奈子



芸術的な立場で一曲を選ぶのは気が引けるので、私がトレーニングで歌っている曲を紹介することにしました。In einer kleinen Konditorei (小さな喫茶店) です。

きっかけは4年前久しぶりのバドミントンで筋肉痛よりも息切れがひどかったからです。トレーニングのため、自分の声域で毎日飽きずに歌える歌を探していて見つけたのがこの歌です。歌の息継ぎが難しいけれど楽しく続けられるため役に立ちました。また、唇や舌を使うため口の動きの練習もできます。声が大きくなったのか、電話口で「元気そう」と言われたり、高齢者に聞き返される頻度も減りました。

私の勤務する介護医療院には嚥下や呼吸の問題のある高齢者が入所されていますが、声を大きく出す方は合併症が多くてもお元気です。その中で歌三線ができる100歳の男性入所者がいらっしゃいました。徐々に三線が弾けなくなり、歌だけになり、最期は歌えなくなってしまいましたが、リズムとっていたり、ハミングしたり、穏やかな表情で過ごしていて心の中では歌が続いていたのかもしれません。こんな老後もいいなと思いました。

ずっと同じ曲ではさすがに飽きるため現在は別の曲を歌い、時々この曲を楽しんでいます。歌は人生の最期まで続けられる趣味かもしれません。そのきっかけを作ってくれたこの曲が大好きです。



*「NHKCDブック：やさしく歌えるドイツ語のうた」2010年2月5日6刷発行（初版は2006年）のCDの一曲。ジュンク堂がオープンした頃に購入しました。小さな喫茶店 In einer kleinen Konditorei』は、1928年ドイツ・ベルリンで発表されたコンチネンタル・タンゴの名曲。作詞：E・ノイバッハ（Ernst Neubach）、作曲：F・レイモンド（Fred Raymond）。

画像出典元：NHK 出版「やさしく歌えるドイツ語のうた」
URL：<https://www.nhk-book.co.jp/>

新入会会員寄稿



「子育て支援から始まる 子どもの発達支援」



特定医療法人へいあん平安病院
小児科・児童精神科専任科長 勝連 啓介

モーニングコーヒーと妻の愛情が込められたサンドイッチを頬張り、ラジオの情報番組に耳を傾けながら仕事のプランを組み立てる、朝の車内はあたかも「走る書斎」。港川の自宅から名護の職場へ15年通いました。そしてこの4月、医療法人へいあん平安病院にお世話になることになりました。勝連啓介と申します。精神科病院で働く小児科医。これが今の私の理想とする形です。

前任の名護療育医療センターでは、発達障がいを抱える子どもの診療が中心でした。発達障がいは生活障がいと考えることができます。子どもが家庭でリラックスでき、学校園に生き生きと通い、放課後を活発に過ごすことができるように支援すること、そして親がわが子は愛おしいと思えて子育てに勤しめるように支援すること、それを私は目指してきました。

浦添市は松本哲治市長が「沖縄一優しい福祉のまち」宣言をしています。キッズファースト運動も始まっています。市をあげて（仮称）浦添市発達障がい児支援関連複合施設の構想があります。複合施設は、子育ての大変さに寄り添う相談機能、言葉の教室などの療育機能が整備され、子どもの発達支援クリニックも併設されると理想的だと思います。医療法人へいあんがそこに関係できると良いなと思います。

今の私、ブレイクファーストはリビングで家族とともに。4人の子どもと母親の喧騒は日常的な情景ながら、そのひとときが仕事に向かう力になります。「子育て支援から始まる子どもの発達支援」をここ浦添で頑張りたいと思います。浦添市医師会の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

浦添市医師会報ヒストリー

浦添市医師会報は今リニューアル号が通算81号となります。そこで今回のリニューアルにあたり、これまでの浦添市医師会報をピックアップして、その歩みを表紙写真と共に振り返ってみます。

創刊号(第1号) 平成4年6月発行

平成4年4月に社団法人浦添市医師会が設立され、記念すべき第1号は初代会長の平安常良先生の就任挨拶とお顔写真が表紙を飾っています。モノクロ印刷の全6ページで発刊され、設立時の理事の先生方のご挨拶や法人認可交付式、第1回臨時総会、設立記念ゴルフコンペ、設立記念式典・祝賀会の様子が写真と共に掲載されています。事務局体制も2名からのスタートで、広報担当の多々羅靖弘先生をはじめ、現在でも理事を務めております新垣義清先生も若々しい(!!)就任挨拶文を寄稿されています。なお、第2号からの表紙の題字(「浦添市医師会報」)は平安常良初代会長の直筆です。

設立5周年記念

第17号

(平成9年10月発行)

設立5周年を記念しての講演会及び式典を沖縄ハーバービューホテルで開催した特集記事が掲載されています。創刊号から5年を経て、ページ数も約20ページ程度での発行が定着してきました。入退会欄には、大正生まれの先生のお名前を確認することもでき、時代を感じる平成初期の会報です。

西暦2000年最初の会報

第24号

(平成12年1月発行)

「ミレニアム」というキーワードが世間を踊る中で迎えた西暦2000年最初の会報です。トピックは、この年4月から開始される介護保険制度についてです。仲間清太郎先生も「主治医意見書の書き方」について、更なる一読を会員へ勧めており、介護保険制度をテーマとした記念講演会の模様も掲載されています。

第31号 (平成14年5月発行)

二代目会長の嶺井進先生の就任挨拶が掲載されています。平安常良先生の退任の挨拶から、現在も続く学術講演会や二水会、ボウリング大会の様子が写真入りで紹介されており、設立から10年目の節目の会報となっております。また、この号ではメディカル・インフォメーション(MI)事業の開始を告げる記事も掲載され、これまでの医師会活動における病病、病診、診診連携に加え、新たに「病診行連携」というかたちが構築されていきます。

設立10年目節目の会報

第52号 (平成21年5月発行)

この号より表紙・裏表紙をカラー仕様に変更しました。表紙に写真を掲載する現在の装丁もこの号より始まっています。役員の先生方の顔触れも設立当初に比べ大きく代わりました。この年1月に「浦添市在宅医療ネットワーク」が発足し、うらそえ市民公開講座を開催しております。当時は介護事業所代表者として登壇された松本哲治浦添市長の懐かしい姿も記事写真中に拝見できます。浦添市医師会報は、平成25年以後発行号よりページ数が30～50ページに及ぶボリュームとなっていきます。

表紙・裏表紙がカラーに!!

第76号 (平成29年10月発行)

記憶に新しい「浦添市医師会設立25周年記念式典・祝賀会」の様様を大特集した記念号です。多くの来賓や招待者をお招きし盛大に執り行われました。25周年記念功労者表彰として、歴代会長や学校医歴20年以上の先生方への表彰をはじめ、祝賀会では、牧港中央病院職員による「かぎやで風」、前田棒術保存会による「前田の棒」を披露して下さり、祝宴に花を添えていただきました。沖縄県や県内各地区医師会との共催で開催いたしました、劇団たんぽぽによる「看取り」をテーマとした芝居「ゆずり葉の季節(はる)」公演の告知も1ページを裂いて行いました。

設立25周年記念

浦添市医師会

記念誌のご紹介

10年のあゆみ・25周年記念誌

浦添市医師会では、これまで2冊の記念誌を発刊しております。設立10周年(平成14年)に発刊しました「10年のあゆみ」と、設立25周年(平成29年)に編纂いたしました「25周年記念誌」です。浦添市医師会設立時からの懐かしいお写真など、この2冊は連続性のある仕上がりとなっております。事務局の方にまだ若干の在庫がございますので、まだお手元に届いていない会員の先生方や入手をご希望される先生がおられましたら事務局までご連絡下さい。

理事会報告（平成31年1月～平成31年4月）

平成31年1月21日（月）19:30

1. 平成30年度がん検診充実強化促進事業
胃内視鏡検診運営委員会設置に係る関係者会議
2. 第39回浦添市学校保健研究大会について
3. 浦添市医師会新年会について
4. 第2回糖尿病に関わる医師と医療スタッフのための研修会について
5. 平成30年度（第21回）浦添市医師会学術奨励賞の募集について
6. 天皇陛下譲位に伴う連休における医療施設の診療予定調べについて
7. その他
 - ・社会福祉活動資金づくり
 - ・第45回芸能の夕べのご案内

平成31年2月18日（月）19:30

1. 退会報告
2. 平成30年度感染症・予防接種講演会について
3. 平成30年度第1回地区医師会特定健診担当理事者会について
4. 平成30年度第1回浦添市生活支援体制整備事業における
第一層協議体について
5. 浦添市医師会新年会について
6. 第2回糖尿病に関わる医師と医療スタッフのための研修会について
7. 第142回浦添市医師会学術講演会について
8. 第54回浦添市医師会ゴルフコンペについて
9. 三役会報告
10. 承認事項について
 - ・見舞金支給について
 - ・第16回日本乳癌学会九州地方会市民公開講座名義後援依頼について
11. その他
 - ・浦添市医師会第54回定時総会について

平成31年3月18日（月）19:30

1. 異動報告
2. 平成30年度第1回会費検討委員会について
3. 第142回浦添市医師会学術講演会について
4. 第54回浦添市医師会ゴルフコンペについて
浦添市医師会第54回定時総会について
5. 第214回沖縄県医師会臨時代議員会について

6. 第214回沖縄県医師会臨時代議員会について
7. 第21回浦添市医師会学術奨励賞について
8. 三役会報告
9. その他
 - ・「With you～OKINAWA2019」後援依頼
 - ・第11回沖縄県医師会研修医歓迎レセプションについて
 - ・県民シンポジウム「iPS細胞がつくる未来の健康」入場券配布について

平成31年4月15日（月）19:30

1. 入会・退会・異動報告
2. 平成30年度第21回浦添市医師会学術奨励賞について
3. 第143回浦添市医師会学術講演会について
4. うらそえ多職種親睦会2019について
5. 浦添市医師会二水会（6月）について
6. 学校医の件について
7. 2019年度各種表彰候補者の推薦について
8. その他
 - ・10連休における浦添市医師会事務局稼働体制について
9. 承認事項
 - ・沖縄県母子保健推進員連絡協議会賛助会費について
 - ・平成31年度浦添市社会福祉協議会特別会費について



入会・退会・異動報告（平成31年1月理事会～平成31年4月理事会）

入 会							
氏 名	医療機関名	診療科目	入会年月日	氏 名	医療機関名	診療科目	入会年月日
勝連 啓介	平安病院	小児科	H31.4.1	西村 拓也	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
親川 拓也	牧港中央病院	循環器内科	H31.4.1	宮平 大	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
森 光	浦添総合病院	救急科	H31.4.1	平田 朋久	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
山城 直嗣	浦添総合病院	外科	H31.4.1	佐藤 壮	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
伊禮 俊充	浦添総合病院	外科	H31.4.1	佐々木啓太	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
亀山 泰樹	浦添総合病院	整形外科	H31.4.1	鈴木裕紀子	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
安里 晨	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1	田中 享明	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
糸洲 友視	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1	野明 純太	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
久保 綾菜	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1	湯本 一由	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1
小林 史明	浦添総合病院	臨床研修医	H31.4.1	石川 真	浦添総合病院 健診センター	内科	H31.4.1

異 動			
氏 名	医療機関名	異動事由	異動年月日
國吉 正行	牧港中央病院	施設異動（勤務先）、会員区分変更	H31.3.12
玉城 英征	経塚クリニック	会員区分変更	H31.4.1
知念 善昭	同仁病院	施設異動（勤務先）、管理者交代、会員区分変更	H31.4.1
伊良部勇栄	浦添医院	施設所在地変更（移転）、管理者交代、会員区分変更	H31.4.1
稲生 真夕	浦添総合病院	会員区分変更、現住所変更	H31.4.1
宇都宮貴史	浦添総合病院	会員区分変更、現住所変更	H31.4.1
佐久間隆弘	浦添総合病院	会員区分変更、現住所変更	H31.4.1
相原 裕子	浦添総合病院健診センター	現住所変更	R1.5.7

退 会							
氏 名	医療機関名	退会事由	入会年月日	氏 名	医療機関名	退会事由	退会年月日
上原 久幸	同仁病院	廃業・退職	H30.8.31	新津 伸	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31
岩井 俊賢	浦添総合病院	医師会の異動	H31.3.31	橋野 伸	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31
柏木 宏幸	同仁病院	廃業・退職	H31.3.31	松澤 暁子	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31
大城 淳一	浦添総合病院 健診センター	廃業・退職	H31.3.20	松野 敬	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31
				溝渕 海	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31
愛知 高明	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31	福井 英人	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31
後藤 大智	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31	平良 和樹	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31
友竹 鴻介	浦添総合病院	廃業・退職	H31.3.31	新垣 勝男	嶺井第一病院	廃業・退職	H31.4.30

表 彰（平成31年1月～平成31年4月）

平成31年1月5日
沖縄県医事功労者沖縄県医師会長表彰

徳山内科医院 院長	徳山 清公 先生
嶺井第一病院 神経内科	豊永 一隆 先生
赤嶺内科小児科医院 院長	赤嶺 達生 先生
比嘉眼科 院長	比嘉 弘文 先生
沖縄療育園	平良 健康 先生
平安病院 内科専任部長	久保 隆平 先生
具志堅循環器・内科 院長	具志堅 政道 先生

平成31年2月25日
平成30年度日本公衆衛生協会会長表彰

丸勝中央クリニック 院長	平良 勝彦 先生
--------------	----------

～この度の受賞、誠におめでとうございます～

講演会・研修会等のご案内 予定が変更になることもございます。ご了承ください。

日 時	場 所	講演会・研修名	講 師	日医生涯教育制度 カリキュラムコード
7/17(水) 19:00	浦添市医師会	第143回浦添市医師会 学術講演会	座長:稲福 徹也先生(稲福内科医院 院長) 講師:中島 信久先生(琉球大学医学部附属 病院地域医療部緩和ケアセンター 診療教授)	10(チーム医療) 81(終末期のケア)
8/7(水) 19:00	浦添市医師会	二水会 (浦添市との意見交換会)	—	—
8/23(金) 19:00	てだこボウル	第30回浦添市医師会 ボウリング大会	—	—
9/18(水) 19:00	浦添市医師会	第144回浦添市医師会 学術講演会	座長:調整中 講師:垣花 学先生(琉球大学大学院医学研究科 麻酔科学講座 教授)	調整中
9/23(月) 08:00	琉球ゴルフ 倶楽部	第55回浦添市医師会 ゴルフコンペ	—	—
10/5(土) 14:00	浦添市 てだこホール 市民交流室	第21回 うらそえ市民公開講座		
10/9(水) 19:00	浦添市医師会	二水会		

事務局からのお知らせ

浦添市医師会ホームページ掲載情報について

浦添市医師会ホームページでは会員医療機関の診療時間などを掲載し、広く情報公開をしています。診療時間、受付時間、診療科目の変更・追加などがある時は、浦添市医師会事務局へご一報下さいますようお願いいたします。

浦添市医師会事務局

TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362
E-mail:info@uraishi.or.jp http://www.uraishi.or.jp

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー 専用電話番号のご案内

浦添市在宅医療・介護連携支援センター うらっしーの専用電話番号を設置しています。在宅医療・介護等についてのご相談はこちらの番号へおかけ下さい。FAXでのご相談の場合は、これまで通り浦添市医師会と共有です。

うらっしー専用電話番号 TEL:098-894-2698

弔事に係るご連絡について(お願い)

浦添市医師会では浦添市医師会運営規定に基づき、会員並びに会員の親等以内の親族の方が亡くなられた際は、供花、香典と共に新聞に弔慰広告を掲載し、弔意を表すこととなっております。

供花等を供する際の必要事項を記入する様式を備えておりますので、そのようなときは浦添市医師会へお電話にてご連絡下さい。

浦添市医師会 TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362
沖縄県医師会 TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

日曜・祝祭日 連絡先:090-6861-1855

浦添市医師会報 表紙写真・原稿募集のお知らせ

本会では会報を年3回発行しており、よりおもしろく、よりためになり、親しみのある紙面作りをめざしています。

会報の表紙を飾る写真の投稿、随筆、書評、趣味の話・・・など、先生方の多岐にわたるご寄稿をお待ちしております。原稿は随時募集しておりますメールまたは郵送にて浦添市医師会あてお送りくださいますようお願いいたします。

また、メディカルスタッフの皆様にも、本会会報へのご投稿について、どうぞお声かけ下さいますようお願いいたします。

寄稿仕様

①表紙の写真

写真タイトル・表紙のことば(簡単な説明)・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、浦添市医師会あてメールまたは郵送にてお送り下さい。

②随筆・書評・趣味の話・その他

タイトル・投稿者の医療機関名・氏名・連絡先を明記のうえ、日常診療のエピソード、紀行文、書評、趣味などお気軽にご寄稿下さい。

※メールでお送り下さる場合は、件名に「浦添市医師会報寄稿」とご入力下さい。

★会報に関する問い合わせ先★

浦添市医師会事務局 〒901-2132 浦添市伊祖3-3-1 アルマーレ101
TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362 Email:info@uraishi.or.jp

編集後記

令和の時代の幕開けと共にリニューアルされた浦添市医師会報はいかがでしたでしょうか?表紙には新しい時代に浦添市の益々の発展のシンボルになるであろうと思われる、ゆいレール“てだこ浦西駅”を採用いたしました。

今回のリニューアルでは、

①紙面のサイズをB5版からA4版に拡大し文章の文字も大きくして読みやすくしました

②全頁オールカラー

③医師会の活動報告以外に会員参加型の新たなコーナーを設けました
(会員リレーエッセイ、会員寄稿、私の一曲など)

④浦添市医師会ゴルフコンペの執筆者を順位が第3位の方に依頼することにしました
など、新たな取り組みを開始しました。今後とも会員の皆さんが手に取って読みたくするような会報作りに取り組んでいきたいと考えておりますので、忌憚のない御意見やいいアイデアなどがございましたら事務局の方までお寄せください。

(会員親睦・広報担当理事 藏下 要)

浦添市医師会報 2019年(令和元年)リニューアル号 通算第81号 発行:一般社団法人浦添市医師会 発行人:池村 剛
〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖3-3-1 101 TEL:098-874-2344 FAX:098-874-2362
E-mail info@uraishi.or.jp ホームページ http://www.uraishi.or.jp

制作/株式会社スイッチ

2019年FM21「ゆんたく健康トーク」出演予定表

(2019年7月～12月)

7月		8月	
1日	たつや整形外科	5日	介護老人保健施設アルカディア
8日	牧港クリニック	12日	牧港泌尿器科
15日	なしろハルンクリニック	19日	みやぎ内科循環器科ファミリークリニック
22日	南斗クリニック	26日	浦添市社会福祉協議会
29日	浦添市(いきいき高齢支援課)		
9月		10月	
2日	徳山クリニック	7日	比嘉眼科
9日	牧港眼科	14日	宮良クリニック
16日	平安病院	21日	マンマ家クリニック
23日	沖縄療育園	28日	浦添市(こども家庭課)
30日	浦添市医師会事務局		
11月		12月	
4日	キンザー前クリニック	2日	みやざと内科クリニック
11日	浦添市在宅医療・介護連携支援センター うらっしー	9日	介護老人保健施設エメロードてだこ苑
18日	バリアフリーオリンピック実行委員会	16日	佐久田脳神経外科・外科
25日	浦添総合病院	23日	同仁病院
		30日	年忘れ放談(池村剛医師会長)

ラジオ
番組

浦添市医師会提供

「ゆんたく健康トーク」 毎週月曜日 午後8時～9時

FM21 (76.8Mhz) で好評放送中！

FM21「ゆんたく健康トーク」再放送のお知らせ

毎週月曜日の午後8時から放送しております

「ゆんたく健康トーク」の再放送が決定！

月曜日に放送した回を、毎週日曜日の朝6時～7時に再放送します♪